

Medical Innovation by NCGM and Commons

開催レポート：第7回 海外医療機器の最新動向勉強会

2018年10月31日（水）、国立国際医療研究センター大会議室にて、MINCの会「第7回海外医療機器の最新動向勉強会」を開催いたしました。行政機関、病院関係者、企業、医工連携関係者、48名の参加をいただきました。ご参加の皆さま、ありがとうございました。

■ MINCの会 勉強会について

国立国際医療研究センターと日本医工ものづくりコモンズでは、2017年秋より、海外医療機器情報誌の日本語訳版「Medical Globe」（株式会社カワニシホールディングス発行）から最新の記事の抜粋を資料として、情報共有をおこなう勉強会を定期的に開催しています。



<http://www.kawanishi-md.co.jp/mg/index.asp>

■ 第7回について

- ・ 医工連携に関わる行政機関より、経済産業省 医療・福祉機器産業室、日本医療研究開発機構（AMED）産学連携部医療機器研究課、東京都産業労働局 商工部創業支援課からご参加・ご挨拶をいただきました。
- ・ 勉強会は、前回に引き続き、国立国際医療研究センター（NCGM）医工連携推進室長の丸岡 豊 先生（歯科・口腔外科）と東京医科大学の福田 尚司 先生（心臓血管外科）を座長に、また医薬品医療機器総合機構（PMDA）より望月 修一 先生をコメンテーターとしてお迎えし、議論をおこないました。
- ・ 記事については、原 久男 先生（循環器内科）、理事長の國土 典宏 先生（外科）、稲垣 剛志 先生（総合診療科）、丸岡 豊 先生（歯科・口腔外科）にご参加いただき、症例や国内の現状の説明とともに、海外の最新医療機器についてコメントをいただき、参加者の皆さまとディスカッションをおこないました。また記事紹介でも田嶋 強 先生（放射線科）より事前に記事についてコメントをいただき、発表させていただきました。



勉強会の様子

✎ 参加者からの声

- ✓ 記事だけを読むとすごく良さそうに感じたが、先生の意見は異なっており、興味深かった。
- ✓ 革新的なアイデア（研究段階であっても）紹介いただけると非常に興味があります。
- ✓ 毎回発表する先生方の事前準備に感服いたします

ディスカッション記事

【循環器内科】 UBCの研究者がステント内再狭窄を検知するスマートステントを開発中

【肝胆膵外科】 amg 社の胆・膵管用の生体吸収性チューブステント ARCHIMEDES

【総合診療科】 遠隔医療サービスを提供する Teladoc 社が同業の Advance 社を買収
Healthy.io 社、家庭用の尿検査キット Dip.io の市販前届完了

【歯科・口腔外科】 Dermtreat 社が開発中の口腔粘膜疾患用の生分解性パッチ Rivelin

記事紹介

中国のヘルスケア企業 Fosun 社が超音波診断装置を開発する米国企業に投資【放射線科】
CHLA と USC が心膜内に植込む極小ペースメーカを開発中 【循環器内科】

◇ 事務局より御礼

前回に引き続き、京都と大阪と遠隔で結び、勉強会の視聴を試させていただきました。今後も改善をしながら、有意義な勉強会を継続していきたいと考えております。
第8回は、2019年1月16日（水）18時より、国立国際医療研究センター研究所会議室にて開催いたします。